

# 南国土佐を後にして

作詞作曲 武政英策

南国土佐を あとにして

都へ来てから 幾年(いくとせ)ぞ

思い出します 故郷の友が

門出に歌った よさこい節を

土佐の高知の 播磨屋橋(はりまやばし)で

坊さん簪(かんざし) 買うを見た

月の浜辺で 焚火(たきび)を囲み

しばしの娯楽の 一時(ひととき)を

わたしも自慢の 声張り上げて

歌うよ土佐の よさこい節を

みませ見せましょ 浦戸をあけて

月の名所は 桂浜

国の父さん 室戸の沖で

鯨釣ったと いう便り

わたしも負けずに 励んだ後で

歌うよ土佐の よさこい節を

いうたちいかんちや いらんくの池にや

潮吹く魚が 泳ぎよる

よさこい よさこい

# 南国土佐を後にして

作詞作曲 武政英策

1 / 3

□□■

1.

南国土佐を あとにして

都へ来てから

幾年(いくとせ)ぞ

思い出します 故郷の友が

門出に歌った

よさこい節を(ほろまやぼし)

土佐の高知の 播磨屋橋で

坊さん簪(かんざし)

買うを見た

2.

月の浜辺で

焚火(たきび)を囲み

しばしの娯楽の

一時(ひととき)を

わたしも自慢の

声張り上げて

歌うよ土佐の

よさこい節を

みませ見せましょ

浦戸をあけて

月の名所は 桂浜



3.

国の父さん 室戸の沖で  
鯨釣ったと いう便り  
わたしも負けずに  
励んだ後で  
歌うよ土佐の  
よさこい節を  
いうたちいかんちや  
おらんくの池にや  
潮吹く魚が泳ぎよる  
よさこいよさこい